

# チャットGPTの試行活用の 状況をお知らせします

---

デジタル戦略課・組織戦略課

# チャットGPTとは？

- 人工知能 (AI) を使ったチャットサービス (2022.11公開)
- 質問に対し、人間のようにならでなめらかな回答を生成
- 情報検索以外にも文章の作成やアイデア提案も可能
- 行政事務に活用試行する自治体も増えている

## 【懸念事項】

- 回答が正確性を欠いたり著作権を侵害したりする恐れ
- 蓄積されたAI学習用データが漏えいする恐れ

市役所の業務効率化のキャッチフレーズを5つ考えてください。

市役所の業務効率化のキャッチフレーズを5つ考えてみました。どうぞご覧ください。

- 市役所はスマートに、市民はスマイルに。スマートフォンやインターネットを活用して、市役所の業務を効率化し、市民の利便性と満足度を向上させます。
  - 市役所は一人ひとりに寄り添います。市民のニーズに応えるために、市役所の業務を柔軟に改善し、個別対応やオーダーメイドサービスを提供します。
  - 市役所はチームワークで進化します。市役所の職員は協力して業務を行い、情報共有や意見交換を通じて、市役所の品質とスピードを高めます。
  - 市役所はイノベーションで未来を切り開きます。市役所は最新の技術や知識を取り入れて、業務を革新し、市民の暮らしを豊かにします。
  - 市役所はエコロジーで地球にやさしく。市役所は省エネやリサイクルなどの環境対策を実施して、業務の環境負荷を低減し、地球に貢献します。
- これらのキャッチフレーズは、市役所の業務効率化の目標や方針を表現するものです。市民にとって魅力的でわかりやすいものを選んでください。😊



## 試行活用の期間・主なルール

期間： 7月20日(木)~9月29日(金)

- ルール：
- ・個人・非公開情報など**重要情報の取扱禁止**
  - ・生成された文章等が**正確な情報であるか、著作権の侵害がないかを必ず検証**
  - ・**過度に依存することなく、庁内業務の効率化に向けた補助ツールとして使用**

活用例： ①情報検索 ②文書生成 ③アイデア出し  
④コード生成

## 活用と評価① 「情報検索」

活用例：・用語や略語の意味、サービスやイベントの照会その他、法令・制度等の説明や解釈などの情報検索に活用

評 価：・GoogleやYahoo!では、表示されたサイトを一つずつ開いてみて、知りたい内容があるか、探す手間がかかるのに対し、  
チャットGPTでは、質問の回答が直接的に生成されるとともに、引用サイトも表示されるため、検索時間が短縮



## 活用と評価② 「文書生成」

活用例：・庁内会議の通知文、挨拶文、市有施設の紹介文の草案作り

評価：・単に会議の名称だけで文書生成を指示しても生成されないが、通知したい内容など具体的にと入力すると、体裁の整った草案ができる

- ・端的に要約された紹介文の生成も可能
- ・職員間で文書生成の好事例を共有することで、が広がる

## 活用と評価③ 「アイデア出し」

活用例：・職員採用試験を多くの方が受験してもらえる  
キャッチフレーズ、市の公園に行きたくなる  
キャッチフレーズを検討

評 価：・複数のアイデアでも即座に生成されるが、  
市内に存在しない施設名等を含んだ回答が  
生成されることもあり、正確性の確認が必要

・アイデア検討の時間短縮になるとともに、複  
数生成されることで、思わぬ発想のアイデア  
が生成



## 活用と評価④ 「コード生成」

活用例：・表計算ソフト(Excel)でのデータ抽出・集計にかか関数・計算式を生成

- 評価：・「情報検索」と同様、回答が直接的に生成されるため、**検索時間が短縮**
- ・データ抽出の条件を増やすなど、複雑な内容になるほど意図が伝わるための丁寧な質問が必要
  - ・職員間でコード生成の**好事例を共有**することで、**利用シーンが広がる**

## 活用試行から見たこと

### ◆草案を実利用した例はまだ多くないですが...

- ・検索やアイデア出し検討に係る**時間短縮**が期待できる
- ・**好事例**を職員間で共有することで、**利用シーンの拡大**や**業務効率化**が期待できる

### ◆操作は手軽にできるのですが...

- ・生成された回答が**正確な情報**か**確認が必要**
- ・期待する回答を生成させるためには、**意図が伝わるように具体的で丁寧な質問入力が必要**



## 今後の運用

- ・業務効率化につながる可能性が高く、ルールに沿って適正な活用・検証を継続
- ・回答に不正確な情報が含まれたり、質問に詳細情報を入力したときの情報漏えいが懸念されるため、市民・議会からの質問に対する回答作成などには（引き続き）使用しない
- ・生成AIの仕様や社会動向の変化などを踏まえて、適宜使用ルールなどの見直しを図る

⇒ 事務作業手順・効率の改善につなげてまいります